

= 全員が元気に登校し、一人一人のよさが輝く学校をめざして =



みのり

学校だより 第7号

令和4年10月24日(月)

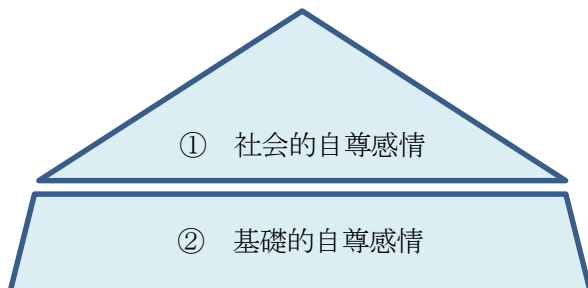
東根市立小田島小学校

文責 校長 吉田紀子

自尊心をはぐくむ

畑や田んぼの先生のおかげで、今年も「みのりランド」や「小田島小実習田」は、大豊作でした。植え付けや収穫時は、子どもたちの表情をカメラに収めたいと思い、校長も一緒に活動に参加させていただいています。子どもたちは、驚きや喜びの声・表情に溢れています。「わあ、こんなにいっぱいなってる(みのってる)。」「おっきいな。」「重くてぬけない。」「こんなにいっぱいとりきれるかな。」「つかれたけどがんばろう。」「こつがつかめたぞ。」このような子どもたちの声や満足げな表情を見ていると、原体験の大切さを改めて感じます。

先日、青少年育成市民会議の家庭教育出前講座で、山形県家庭教育アドバイザーの土屋常義先生から『子どもの自尊感情を高めるために』という講演をお聞きしました。**自尊心**とは、「**自分はかけがえのない大切な存在だ。**」と思える心の状態であり、人が生き生きと生活するうえで一番大切な土台となるものです。



①社会的自尊感情

「できた」「やれた」「ほめられてうれしい」など成功体験で味わう感情

②基礎的自尊感情

自分のダメなところや弱いところも含めて、自分が存在すること自体まるごと肯定してもらう感情

②の基礎的自尊感情の土台がないと、①の社会的自尊感情は積み上がりません。ですから基礎的自尊感情をはぐくむことがとても重要で、そのためのキーワードが3つありました。

1つ目は、「早寝・早起き・朝ごはん」規則正しい生活は、体と心の調子を整えます。心の安定に欠かせません。心のパワーの源です。

2つ目は、「周囲の大人の言葉」です。「ダメ!」という言葉や、できないことや足りないところに目を向けた言葉によって、子どもは自分を否定されたように感じ、「自分はできない子だ。」と苦手なことに取り組む意欲を失ってしまいます。見方を変えて、勇気づけるメッセージを送りたいものです。

3つ目は、「原体験の大切さ」です。「自然の中で子どもと一緒に体験する」そして「楽しかったね。」「またやりたいね。」「失敗したけどまた挑戦しよう。」と思いを共有することで、幸福度がUPします。自転車乗りでも、かけっこでも、畑仕事でも何でもいいのです。ゲームの世界ではなく、自然の中での体験です。

子ども同士、家族で、祖父母と、先生と子どもたちで、地域の人と・・・様々な人とのかわりの中で、ともに小田島っ子一人一人の自尊感情をはぐくんでいきましょう。